

知らない間に社員が 100 人近くになり総人員 300 人近くになり、その人たちの人生と家族の責任を背負っています。

同じ人生なら良い人生だった、この仕事していて本当に良かった。

家族より良い会社にお世話になって本当によかったと言って貰える環境を是非作りたいと思っています。

仕事は厳しいです。

その厳しい仕事をどの様にすれば喜びに変えることは出来るか?一人ひとりがうれしく楽しく仕事をして貰う為には高収益、高賃金の会社が必須です。

古田土会計古田土先生は会社がどの様に高適な理念を言っても、給与が低ければ空念仏にしか聞こえない。と言ってます。

お客様に本当に喜んで頂く仕組みを創る。

今私たちの仕事は本当にお客様の満足に繋がっていますか。商品、サービスは本当に適切ですか。

私たちの会社の仕組みは本当に高収益を生み出せる仕組みになっていますか?一人ひとりの動きが利益体質になっていますか?

もし適切なら収益は上がり解約は限りなく 0 に近づき、純増になるはずですが。

しかし、収益は普通以下、解約は高水準、純減は当たり前です。

本当に社会に貢献出来る商品、サービスならもっとお客様の注文が殺到し、解約が少なくてよいはずですが。

私たちの商品、サービスそしてお届け、お知らせの仕方に問題はありませんか。

一人ひとりがプロになりプロ意識を持つ必要があります。一人ひとりの生産性、働き方は適切ですか。

ムダ、無理、ムラはありませんか。

理想のレンタルとは何ですか、理想の営業とは何ですか?

生産性の上がる仕事とは何ですか?

内部のムダ、無理、ムラを解決し、本当にお客様に喜んで頂く株式会社ほづみを創り、是非高収益、高賃金の会社を早急に作らなければなりません。

芯の意味から理念を語れる会社、希望の持てる会社。

退職したときに本当に良かった人生だったと言って貰える会社には是非ともなりたいと願っています。